

Report

青山財産
Aoyama Zaisan Networks

2022 Winter Vol.19

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当グループは昨年創立30周年を迎え、2022年より第三次中期経営計画がスタートします。「仕事とは人の助けになること」という原点に基づき、多くの皆様から「財産のことなら青山財産ネットワークス」とご支持いただけるように、質の高いコンサルティングサービスの提供・商品の拡充を進めてまいります。皆様のご期待に沿えるよう尽力してまいりますので、本年も当グループをよろしくお願いいたします。

代表取締役社長 蓮見正純

Topics



Special Feature

「ファミリーオフィスサービス」スタートから1年
企業オーナー様・パートナー様に感じていただけている価値とは

AZN News

- 書籍発売「事業承継 親の心子知らず 子の心親知らず」
19の失敗事例から導く「思い」「理解」「感謝」のない対策の行方(日経BP)を上梓
- ADVANTAGE CLUB「溜池山王」を新規組成
- M&Aカンファレンス(日本M&Aセンター主催)で当社代表の蓮見が講演

30周年記念書ききボード前にて
(当社グループの未来に向けたビジョンを
社員一人一人が書きにしました。)

「財産」のことなら青山財産ネットワークス
ホームページでは旬な情報を随時更新しています

青山財産

検索

<https://www.azn.co.jp>



「ファミリーオフィスサービス」スタートから1年 企業オーナー様・パートナー様に感じて いただけている価値とは



2021年1月、株式会社青山ファミリーオフィスサービス(以下「AFOS」)を設立し、ファミリーオフィスサービスを開始致しました。このサービスは、ファミリービジネス(=同族企業)の永続的発展を支援するため、事業を支える一族の一体性維持・強化に焦点をあてた、「非財産」分野での新たなコンサルティングサービスです。スタートから約1年、企業オーナー様やパートナー様からどのような反響をいただいているのか、取締役の米田隆からお伝えします。また、メガバンク出身でAFOS事業に携わる大木が、バンカーの立場からAFOSのメリットを語ります。

上場企業・優良企業に

潜んでいた、強いニーズを

実感した1年

米田 AFOSがサービス提供を開始して約1年。このサービスへのニーズが高いことを実感し、非常に強い手応えを感じています。

これまでにない新しいサービスでありながら、オーナー系の上場企業様を中心に、すでに20を超える優良企業の創業ご一族の皆様からご相談をいただいています。「会社と創業家一族は未来に向かって、どのような関係性であるべきなのか」「その創業家一族とは、事業に対してどの様な役割を担う集団であるべきなのか」「創業者としての意思決定を安定的に行っていくためには、どのようなガバナンス体制づくりが必要なのか」—そんなご相談が寄せられています。

AFOSのサービスは創業家の皆様に「未来への希望」を湧き起こさせるものだと自負しています。ある企業様の場合、創業家経営陣のお子様には承継者として適切な方がいらつしやらず、取引先金融機関からは、事業売却の提案ばかりが持ち込まれていました。しかし、お孫様世代には承継者としての可能性のある方々がいらつしやいます。そこで、次世代は一旦、非一族のプロ経営者に任せ、その次の世代でお孫様たちにチャンスを与えることにされました。3世代が協力し、教育も含めて一族の経営理念と取締役会を通じたビジネスガバナンスを改め、一族事業を承継し

ていこう、という方針となりました。

AFOSと出会われたことで「希望が湧いた」という言葉をいただき、改めてこのサービスが未来へ希望をつなげるものであると実感しています。

銀行と企業オーナーの

リレーションを

深めるツールとしても

価値を発揮

大木 私はメガバンク出身者の立場から、AFOSと銀行がパートナーシップを結ぶにあたっての橋渡し役を務めています。AFOSのサービスは、バンカーがお客様の懐に深く入り込むきっかけになるものです。バンカーが企業オーナーにアプローチする際、「株」「税金対策」の話題では受け入れてもらいにくいところ、「ファミリーオフィス」という新たな視点を提供することで耳を傾けてもらいやすく、対話の機会をいただけるのです。

また、私がメガバンクから青山財産ネットワークスへ来て、お客様との対話の場に同席するようになり、ある気づきがありました。「お客様は、銀行のプライベートバンカーにある程度の本音を話してくれていると思っていたが、家族のこととなると本音は話してはいいのだな」ということです。家族間のいざこざを銀行に知られると、先々の融資判断にマイナス影響を及ぼすかもしれないと危惧されていることでしょう。その点、青山財産は一族のもめ事も解決してきた実績を持って

います。お客様が悩みを率直に話されるので、根本にある課題が理解できるようになりました。

会社の業績が良くても、家族間で意思疎通がうまくいっていないケースや、事業を維持していくためには家族の結束や絆の強化を図る必要があると、オーナー自身が感じています。だからAFOSが求められているのだと、強く感じています。

米田 私たちは、上場企業としてファミリーオフィスサービスを手がけるオンリーワンの存在です。会計士・税理士・司法書士など多様な専門家とのネットワークを持ち、状況や課題に応じて連携できるのも私たちの強み。今後は「民事信託」とセットで提供するなど、付加価値サービスの開発にも取り組んでいきます。30年間培った事業承継のノウハウ、組織力、ネットワークを基盤に、「無形資産」の承継を補完することで、一族と事業の永続的な発展に伴走してまいります。



株式会社
青山ファミリーオフィスサービス
取締役 **米田 隆**
Takashi Yoneda

- ・早稲田大学商学大学院 ビジネス・ファイナンス 研究センター 上級研究員(研究院教授)
- ・公益社団法人日本証券アナリスト協会プライベートバンキング教育委員会委員長

早稲田大学法学部卒業。日本興業銀行の行費留学生として米國フレッチャー法律外交大学院卒業。国際金融法務で修士号取得。金融全般、特にプライベートバンキング、同族系企業経営、新規事業創造、個人のファイナンシャルプランニングと金融機関のリテール戦略等を専門とする。著書に「世界のプライベート・バンキング」[入門] (ファースト プレス)、訳書に「ファミリービジネス 賢明なる成長への条件」(中央経済社) 等

▲ホームページに、より詳細な解説・事例を掲載しています

青山財産

検索

<https://www.azn.co.jp/column>



1月発売予定

青山財産ネットワークスより、 『事業承継 親の心子知らず 子の心親知らず』 19の失敗事例から導く「思い」「理解」「感謝」のない対策の行方 (日経BP)を上梓します。

親は子に、思いと考え方を伝え、事業を託す。子は、親の思いと考え方を理解し、感謝しながら会社を経営する。この思いやる心が、事業承継をうまくすすめるコツとなります。事業を円滑に承継するためには、どのような「考え方」を持てばよいか。本書では事業承継・財産承継に関する19の失敗事例をご紹介します。今後、事業承継を迎える方々に、「全体最適」の考え方と、「思いやり」の気持ちを持つことの重要性を、本書を通してご理解いただければ幸いです。



コンサルティング第二事業本部
第一事業部 第一グループ グループ長/税理士

松川 洋平

大手税理士法人での税務申告業務・相続
事業承継コンサルティング業務を経て、
2018年に当社入社。



コンサルティング第二事業本部
第一事業部 第二グループ グループ長/税理士

平岡 紇也

大手ファームにて、組織再編を中心とした
M&A及び事業承継コンサルティング業務
等を経て、2018年に当社入社。

ホームページでは
「前編」「後編」にわけてコラムを
掲載しております、ぜひご覧ください。

前編



後編



発行：日経BP
価格：1,500円(税別)

不動産特定共同事業 (任意組合金銭出資型)

ADVANTAGE CLUB® 「溜池山王」^{ため いけ さん のう}を新規組成

不動産共同所有システムADVANTAGE CLUB 溜池山王(総口数326口)は募集口数を大幅に上回るお申込みをいただき、2021年12月に組成致しました。赤坂エリアは、日本の立法、行政、司法を司る国会議事堂、首相官邸、最高裁判所や、多くの省庁が集まる中央省庁街があるエリアです。また、日本の中枢を守護する日枝神社も所在しています。運用対象の渡辺商事赤坂ビルは、「溜池山王駅(国会議事堂前駅直通)」「赤坂駅」「赤坂見附駅」の4路線4駅を最寄り駅として利用ができ、いずれの駅へも徒歩約5分以内に立地しています。証券会社や地方銀行との連携も進み、より多くの皆様に、よりニーズに合った商品をご提供できるよう展開してまいります。

ADVANTAGE CLUB® 2002年～ (2021年12月末現在)

累計組合数	組成累計額	のべ組合員数
57組合	882.8億円	3,023名



渡辺商事赤坂ビル

11月5日に開催された M&Aカンファレンス(日本M&Aセンター主催)で 当社代表の蓮見が講演いたしました。

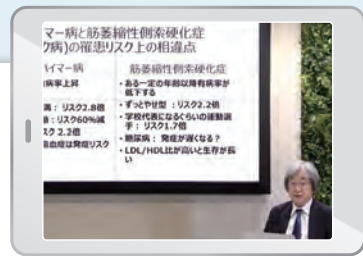
このカンファレンスは基調講演と全43のセッションがあり、お申込が約15万人と大盛況で幕を閉じました。今回蓮見は「一族を幸せにするファミリーオフィス」のセッションで登壇致しました。M&A後も創業ご一族が良好な関係性を維持していくための、資産管理会社活用の重要性について講演しておりますので、ぜひアーカイブ動画をご覧ください。



※蓮見セッション番号: ROOM5-D
※アーカイブ視聴には登録が必要となります。



第2回「心」と「体」の健康 オンラインセミナーを開催しました。



青山財産ネットワークスは創業以来、総合財産コンサルティングの提供を通じ、主に「財産」面での支援に注力してまいりました。一方、人生100年時代を幸せに過ごすためには、同時に健康な「心」と「体」も大切であると考えており、専門家をお招きしてセミナーを開催しています。昨年10月、「認知症予防についての秘訣」をテーマに行ったオンラインセミナーのレポートをお届けします。

日常の言動から認知症を判断する方法

人生100年時代と言われる中、長生きのリスクとして皆さんが不安を抱えている「認知症」。認知症では初期症状として「記憶障害」、つまり「物忘れ」が出現します。また、その人が日常使っている「小銭入れ」から認知症の兆候を察知できることもあります。小銭入れが大きく膨れていたなら、認知症が始まっているかもしれません。これは「計算ができなくなっている」表れです。一方、記憶力は落ちていない、計算もできるけれど、「人柄が変わったようになる／場違いな行動をとる」といった兆候が表れることもあります。こうした行動は、「前頭側頭型認知症」の早期である可能性があります。認知症の50%以上が、皆さんもよく耳にする「アルツハイマー型認知症」ですが、10%未満の「前頭側頭型認知症」は、記憶に問題はなくても、人格の変容が見られるのが特徴です。

認知症を予防する方法

認知症は早期発見が重要です。MCI(軽度認知障害)の段階で適切な治療ができれば、認知症を遅らせる、また、ある部分においては元に戻るというデータもあります。MCI改善、認知症予防のため、日常生活において「運動／食事／認知トレーニング／生活習慣病の改善／勉強／社会とのつながり／楽観的であること／夫婦円満であること」を心がけると良いでしょう。認知症の症状は、認知症薬を使うことで改善する、あるいは進行が緩やかになります。薬を服用することになった場合は、きっちりと飲み続けてください。

【講演内容】

人生100年時代を 幸福に過ごすために、今大事なこと



順天堂大学大学院医学研究科
神経学 教授
順天堂大学医学部神経学講座 教授
(医学部長・医学研究科長 兼任)

服部 信孝氏

【第1部】講演

認知症予防について 他

【第2部】質疑応答

本セミナーでは、他にも「認知症」による物忘れと「加齢」による物忘れの違いについてや、MCIの特徴、詳しい予防法などもご紹介しているので、本セミナーのレポートおよび動画をぜひご覧ください。



▲セミナーレポート



▲セミナー動画



「統合報告書」を 発行しました。

当社としては初となる「統合報告書」を11月に発行いたしました。持続的な成長と企業価値向上に向け、財務・非財務情報の積極的な開示を行ってまいります。ぜひホームページをご覧ください。



統合報告書

当社HPのサステナビリティページをご覧ください。

2022年度(令和4年度) 税制改正大綱発表

岸田政権の政策の基本的考え方「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」を反映した内容となりました。主な改正項目についてホームページのトピックスにまとめていますのでぜひご覧ください。また、毎年税制改正に関する資料も発行しております、お気軽にお問い合わせください。



過去の税制改正
パンフレット



税制改正大綱

当社HPのトピックスをご覧ください。

「財産」のことなら青山財産ネットワークス



株式会社 青山財産ネットワークス
Aoyama Zaisan Networks Company, Limited

青山財産ネットワークスグループ
株式会社 日本資産総研

相続・事業承継・不動産に関するご相談がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

0120-022-313 平日/9:00~17:00

■ご意見、ご感想などございましたらこちらまで

青山財産レポート事務局 azn-pr@azn.co.jp

本冊子は、過去に当社にご相談いただいたお客様へ向けて、当社および当社グループ会社の業務に関する情報のご案内として送らせていただいております。お客様の個人情報は、個人情報保護関連法及び当社のプライバシーポリシーに従い、適切に管理しております。今後、当社からのご案内をご希望されない場合は、お手数ではございますが、上記お問い合わせ先までお申し出ください。
株式会社青山財産ネットワークス 個人情報お問い合わせ窓口